

第 9 回 江南区福祉のネットワークづくり交流会 企画書

NPO 法人まちづくり学校

【目的】

- 過去 6 年間にわたって実施してきた江南区・福祉の学び舎事業について、これまでの取り組みや成果をふりかえりつつ、これからの地域福祉についての情報・意見交換等を行いながら、携わる方々の相互の交流を深める。

【概要】

日 時 平成 26 年 12 月 16 日 (火) 13 : 30 ~ 16 : 00

会 場 江南区役所 3 階 302 会議室 / 大ホール

内 容 ①平成 21~26 年度・江南区福祉の学び舎事業のふりかえり

※26 年度に作成した「配食サービスガイドブック」のお披露目含む

②意見交換「(仮) これからの地域福祉で重要なことは？」

③意見交換の結果を受けたトークセッション

テ ー マ : (仮) これからの地域福祉は地域の総力戦！

ゲ ス ト : 江口 歩 (新潟お笑い集団 NAMARA)

ナビゲーター: 森下 英矢 (")

定 員 50 名程度

【当日プログラム】

オープニング (13 : 30 ~ 13 : 50)

・あいさつ

・21~26 年度福祉の学び舎事業のふりかえり

報告 1 : 21~25 年度の取り組み内容と成果

報告 2 : 26 年度に作成した「配食サービスガイドブック」について

※実態調査や試食&意見交換会の報告を含む

第 1 部 参加者同士の情報・意見交換 (13 : 50 ~ 14 : 40)

～区民が考える「これからの地域福祉で大切なこと」～

- ・「江南区におけるこれからの地域福祉で大切なこと」をテーマに、参加者が小グループに分かれての意見交換 (ワークショップ形式) を実施。参加者が考えるキーワードをいくつか浮かび上がらせる。

休憩 (14 : 40 ~ 14 : 50)

第 2 部 トークセッション (14 : 50 ~ 15 : 50)

～これからの地域福祉は、地域に関わる全ての人による総力戦だ！～

- ・新潟お笑い集団 NAMARA の江口歩さんと森下英矢さんによるトークセッション。第 1 部で浮かび上がったキーワードを踏まえ、これからの地域福祉は地域に関わる全ての人による総力戦だ！という切り口でのお話し頂く。

講 師 : 江口 歩 (新潟お笑い集団 NAMARA 代表 / 新潟市地域包括ケア推進アドバイザー)

森下 英矢 (新潟お笑い集団 NAMARA)

クロージング (15 : 55 ~ 16 : 00)

(補足：プログラムの企画意図)

◇企画検討にあたり、新潟お笑い集団 NAMARA の江口氏と打合せを行った際、以下のような意見を受けた。

- これからの地域福祉は、福祉関係者だけで完結しない。保護司、薬物依存関係者、保育士、不動産関係者（空家活用）、NIC（新聞配達時の見守り）、J A（障がい者雇用）消防団、学校、商店街、ボランティア団体、企業経営者、まちづくり団体など、多様な主体特に異分野同士の連携がとても重要である。交流会には、こうした方々にも声を掛けてほしい。
- 当日は、どのような人たちが来ていて、どんな考えを持っているのかを踏まえてお話ししたい。

◇以上の点を考慮した結果、参加者同士の意見交換を先に行い、それを踏まえて講師による講演を行う流れとした。